

小平市のスポーツ振興の基本方針（素案）

小平市教育委員会

平成22年2月

目次

基本方針の策定にあたって	2
第1 小平市のスポーツ振興の歴史と現状	3
1. 小平市のスポーツ活動	3
2. 小平市のスポーツ施設	4
3. スポーツに関する市民意識	5
第2 小平市のスポーツ振興の基本的な考え方	7
1. スポーツ振興における市の役割	7
2. 市の役割に関する基本的な考え方	7
(1) 今後のスポーツ振興施策の視点	7
(2) スポーツ活動を支える施設のあり方	7
(3) 市民ニーズと事業展開	8
第3 スポーツ振興施策の基本方針	9
1. スポーツ振興の仕組みづくり	9
(1) 小平市体育協会の発展への支援	9
(2) 市民との連携・協働	9
(3) 民間企業・大学等との連携・協働	9
2. 今後の体育施設等のあり方	10
(1) 体育施設の整備及び管理、運営	10
(2) 学校体育施設等の有効活用	10
3. 健康づくり事業の推進	11
《資料》 社会体育関係事業年表	12

基本方針の策定にあたって

近年は、健康志向の高まりとともにスポーツを市民生活の一部とした生涯スポーツが盛んであり、市民が自らの意思でそれぞれの体力や年齢に応じてスポーツを親しみ、健康の維持増進を図るニーズが増えています。

また、市内の体育施設はスポーツ愛好者の健康増進の場として、多くの人々の健康づくりや生涯スポーツ、レクリエーション活動などの場として、市民の多様な活動を支えています。

小平市では、平成**20**年度に公募市民による「小平市のスポーツ振興を考える市民委員会」を設置し、小平市のスポーツ振興の方向性について、市民の視点での検討を行いました。この市民委員会の報告を踏まえて、より多くの市民がスポーツに親しみ、その楽しさを通じてより健康で心豊かに過ごすために、小平市のスポーツ振興を推進していくうえでの基本方針を策定するものです。

なお、この基本方針は、「小平市第三次長期総合計画—こだいら**21**世紀構想・前期基本計画—」の計画年次である平成**27**年度までの、小平市のスポーツ振興の推進に関する基本的な考え方を示すとともに、今後の小平市のスポーツ振興の指針とするものです。

また、今後の社会経済情勢の変化に対応するため、適切に見直しを行うものとします。

第1 小平市のスポーツ振興の歴史と現状

1. 小平市のスポーツ活動

戦後当時に町の青年団や周辺の青年団の連合主催行事として数種の競技会が行われる状況下、昭和 34 年 3 月に小平町体育協会が結成されました。小平市体育協会（以下「体育協会」という。）は、創立以来 50 年あまりの中で、年々加盟団体数も増え、現在、32 団体を有する組織に成長を遂げ、各種のスポーツ大会や教室・講習会などを主催するとともに、教育委員会との共催事業を行うなど、市民スポーツ振興の中核的存在として大きな役割を果たしています。

昭和 39 年に開催された東京オリンピックは、国民のスポーツに対する関心とわが国の競技水準を高めましたが、小平市においても、市内に拠点を置いた日立製作所武蔵工場バレーボール部（その後、日立ベルフィーユと改称し平成 13 年に廃部）の存在は、市民のバレーボールへの関心や市民スポーツ振興への原動力として大きな貢献をしました。

近年では、Jリーグに所属するプロサッカーチーム、東京フットボールクラブ（FC東京）が練習拠点を大沼町に置き、積極的な市民スポーツ行事への参加や技術指導などを通じて地域と密着したスポーツの普及などの活動を展開しています。

青少年のスポーツ分野においても、小・中学校、高校、大学における運動部の全国大会等での活躍などもめざましく、さらに国際的にはオリンピックやパラリンピックでの市内出身者の活躍が記憶に新しいところです。

平成 25 年（2013 年）には、東京都での開催は昭和 34 年（1959 年）以来となる第 68 回国民体育大会（東京国体）が、多摩・島しょ地域を中心に東京都全域での開催が予定されており、小平市は成年女子バレーボール競技の開催を主管することが内定していることから、今後、本格的に取り組むこととなります。

これまでのスポーツ活動で培われてきた人材やスポーツ活動団体との連携強化を図ることにより、新たなスポーツ振興の仕組みづくりが求められています。

2. 小平市のスポーツ施設

昭和**37**年の市制施行当時は、市立学校の施設（体育館・校庭）を使用していました。市の施設整備は、昭和**43**年に萩山グラウンドの開設をはじめ、昭和**44**年に上水テニスコート、昭和**46**年に萩山公園プールのオープンと続き、現在では、グラウンド5か所、テニスコート3か所、屋外プール2か所、多目的広場としての市民広場4か所と市民総合体育館、花小金井武道館など、市民ニーズに応じて整備を行ってきました。

また、市の体育施設を補完するために、市立学校施設（体育館・校庭）を学校運営に支障のない範囲においてアマチュアスポーツ活動を目的とする個人や団体に対して学校開放を実施しています。さらに民間体育施設の活用によるスポーツ活動の場の確保も行い、市制施行後の**50**年近くの間には体育施設の拡充を図ってきたところです。その他にも、市内の民間商業スポーツ施設は、スイミングクラブやアスレチッククラブ、テニスクラブ、フットサル場、柔道場・空手道場などの武道場、ゴルフ場、ゴルフ練習場などがあり、市民の多様なスポーツニーズへの対応やスポーツに親しむ環境が充実されました。

今後は、スポーツに親しむ環境づくりの観点による体育施設の整備や既存施設の新たな管理運営方法及び効率的な体育施設のあり方を検討する必要があります。

《表1》 小平市立のスポーツ・レクリエーション施設

施設名称	所在地	開設年
萩山公園グラウンド	小川東町4丁目4番1号	昭和43年
大沼グラウンド	大沼町2丁目619番地	昭和55年
天神グラウンド	天神町1丁目173番地	昭和56年
中央公園グラウンド	津田町1丁目1番1号	昭和57年
小川西グラウンド	小川西町5丁目8番1号	平成15年
上水公園テニスコート	たかの台1番1号	昭和44年
中央公園テニスコート	津田町1丁目1番1号	昭和57年
天神テニスコート	天神町1丁目175番地	平成12年

施設名称	所在地	開設年
萩山公園プール	小川東町 4 丁目 4 番 1 号	昭和 46 年
東部公園プール	花小金井 6 丁目 13 番 1 号	昭和 60 年
福祉会館前市民広場	学園東町 1 丁目 19 番 14 号	昭和 54 年
花小金井南市民広場	花小金井南町 2 丁目 12 番 17 号	昭和 57 年
小川町二丁目市民広場	小川町 2 丁目 2057 番地	昭和 59 年
花小金井四丁目市民広場	花小金井 4 丁目 27 番 8 号	平成 2 年
萩山公園卓球室	小川東町 4 丁目 4 番 1 号	昭和 46 年
花小金井武道館	花小金井 5 丁目 463 番地	昭和 50 年
市民総合体育館	津田町 1 丁目 1 番 1 号	昭和 60 年
子どもキャンプ場	小川町 1 丁目 621 番地 (注 1)	昭和 57 年
八ヶ岳山荘	山梨県北杜市高根町清里念場原 3545	昭和 44 年
小平元気村おがわ東施設	小川東町 4 丁目 2 番 1 号	平成 16 年

(注 1) 平成 22 年 4 月より小平市小川町 1 丁目 574 番地 1、仮換地小平市小川町一丁目土地
区画整理事業 44 の 5 街区に移転

《表 2》 一般開放民間体育施設

施設名称	所在地	開放年
三菱ビルテクノサービス(株) (体育館、グラウンド、テニスコート)	天神町 1 丁目 384 番地の 1	平成 4 年
職業能力開発総合大学校 東京校 (体育館・テニスコート)	小川西町 2 丁目 32 番 1 号	平成 5 年

《表 3》 市内民間商業スポーツ施設の種類

スポーツクラブ (プール、トレーニング等)	サッカー・フットサル場	
ゴルフ・ゴルフ練習場	テニスコート	武道関係道場

3. スポーツに関する市民意識

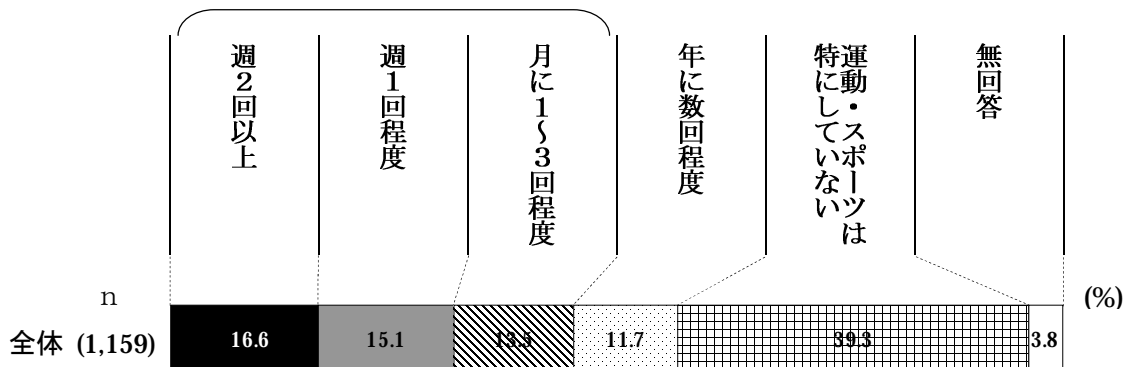
平成 20 年 2 月の「第 16 回小平市政に関する世論調査」報告書ではスポーツを行っている市民の割合 (図 1) は、「週 2 回以上」の人は 16.6%で、「週 1 回程度」の人の 15.1%と「月に 1~3 回程度」の人の 13.5%を合わせた《日常的にスポーツを実施している人》の状況は 45.2%であり、「年に数回程度」の人は

11.7%で、「特にしていない」人は、39.3%となっています。「年に数回程度」と「特にしていない」人の行わなかった理由（図2）で「忙しくて時間がない」が43.6%と最も多く、次いで「仕事や家事で疲れている」が32.8%、3番目に「身近なところに場所や施設がない」の19.1%、という調査結果となっています。

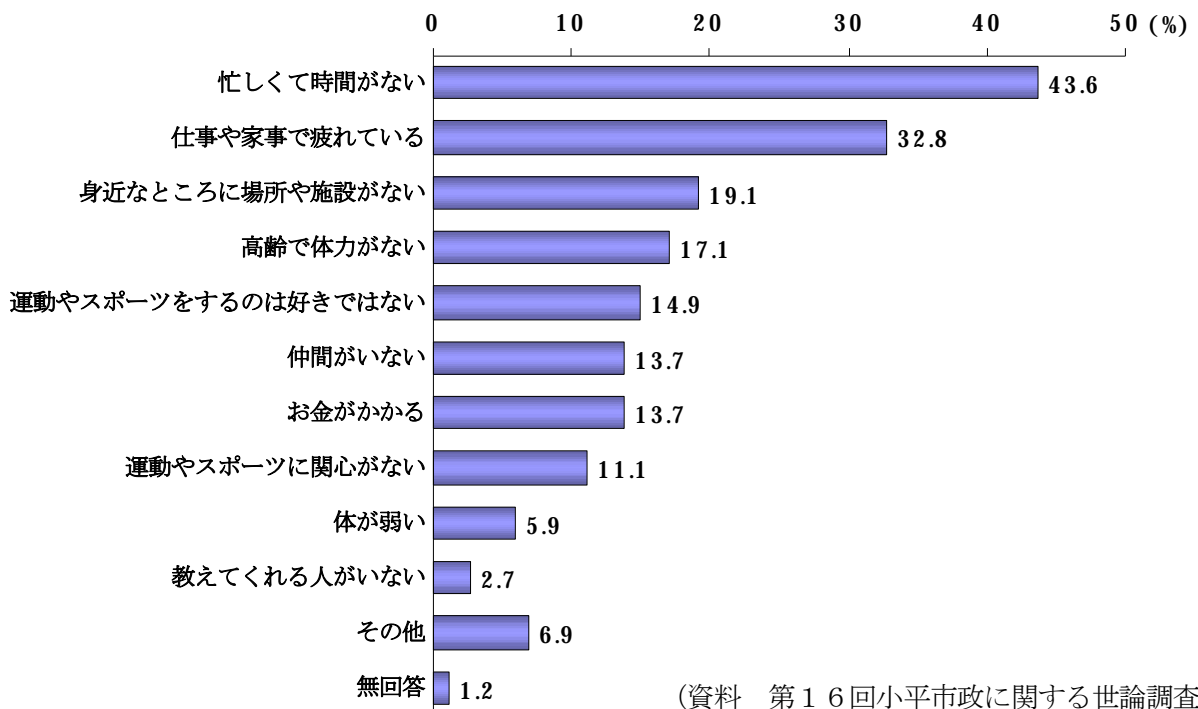
今後は、市民の健康志向の高まりや少子高齢化対応など、市民ニーズをより反映する手法での事業活動が求められています。

《図1》 運動・スポーツの実施状況

《日常的にスポーツをしている》



《図2》 運動・スポーツを行わなかった理由（複数回答）



(資料 第16回小平市政に関する世論調査)

第2 小平市のスポーツ振興の基本的な考え方

1. スポーツ振興における市の役割

市民の余暇の過ごし方も多様化し、市民が自主的に行うスポーツや健康づくり活動などへの参加の選択肢が増えてきており、スポーツ活動を行う団体も多岐にわたっています。

また、スポーツ環境の整備については、これまで体育施設を直営方式で管理、運営を行い、スポーツ事業を充実させることで役割を担ってきましたが、指定管理者制度の導入による管理、運営方法の変化や少子高齢化社会の進展、景気の低迷など、地方自治体を取り巻く厳しい社会経済情勢や市民の多様化するスポーツニーズに対応したスポーツ振興施策が求められています。

このような状況を踏まえ、今後のスポーツ振興を図っていく上では、次のような基本的な考えに基づき役割を担っていくこととします。

2. 市の役割に関する基本的な考え方

(1) 今後のスポーツ振興施策の視点

小平市のスポーツ振興は市が主体となって行われてきましたが、今後は、市民スポーツ活動で培われてきた人材や組織力を活かすためのネットワークづくりやスポーツに関する情報の共有化を図り、市民スポーツ活動団体を体育行政の担い手のひとつとして位置付けるなど、地域に根差した新たなスポーツ振興の仕組みづくりを目指します。

(2) スポーツ活動を支える施設のあり方

市の体育施設や民間体育施設を活用したスポーツ環境の確保、さらには民間商業スポーツ施設が設置され、市民の多様なニーズへの対応やスポーツに親しむ環境が充実してきておりますが、今後も、必要に応じて市民がスポーツに親しむ環境づくりを支える体育施設の整備を行うとともに、既存の体育施設に関しては、効率的な管理、運営や今後の体育施設のあり方を検討します。

(3) 市民ニーズと事業展開

健康志向の高まりやスポーツ環境整備に伴い生涯スポーツが盛んですが、市民の自主性や選択性の高い分野であり、市民のスポーツニーズも多様化していることから、今後は、健康づくり事業の推進や多世代間の交流事業など、多くの市民が参加しやすい事業の展開を図ります。

第3 スポーツ振興施策の基本方針

1. スポーツ振興の仕組みづくり

(1) 小平市体育協会の発展への支援

小平市体育協会は、小平市の地域に根差したスポーツ活動団体であり、組織強化と事業活動の拡充を図るために平成22年4月を目途に、これまでの任意団体から法人化に向けた準備を進めています。

これまで体育協会が培ってきた事業面での組織や人材の知識・経験を活かすことにより、今後の体育行政の中心的な担い手として、さらなる発展が期待できます。そこで、組織体制の強化など、市が適切な支援を行うことにより、体育協会との連携・協働を進め、市民ニーズに即したスポーツ振興を目指します。

(2) 市民との連携・協働

多くの競技団体が加盟している体育協会をはじめ、企業や大学も含めた市内のスポーツサークル・グループが体育施設を拠点として活動しています。

このような身近な地域でのスポーツ指導やニーズの異なる各世代のスポーツの実施や活動を支える人材の確保には、体育指導委員や競技団体と連携し、市民の中から幅広い知識と指導技術を持って活動を行うことができる意欲的な指導者等を発掘し、次世代につなげる人材養成や市民ニーズの掘り起こしを必要があることから、市民のスポーツ活動に関する情報ネットワーク機能や情報交換の場を設け、情報の収集及び発信する機能を充実し、スポーツ振興の仕組みづくりを図ります。

(3) 民間企業・大学等との連携・協働

FC東京はサッカーを通じてスポーツ行事や地域のイベントにも積極的に参画し、トップレベルの技術を市民に提供してくれています。これからもパートナーシップをさらに強めて、地域に根差した市民レベルの共同事業を充実させていきます。

市内、近隣の大学等との連携においては、学生に指導や運営の協力を得ること

で社会活動の場を経験してもらうとともに、市民に現役のアスリートと触れ合う機会を提供することで、次代のアスリートや指導者の育成を図っていきます。

また、小平市に縁のあるスポーツ選手の応援活動や市のイベントへの参加など、スポーツ選手を通しての「まちおこし」への貢献や市民のスポーツへの関心の向上を図ります。

2. 今後の体育施設等のあり方

(1) 体育施設の整備及び管理、運営

市内の体育施設に関しては、今後も必要に応じて施設改善や施設整備を図ってまいります。一方では、厳しい財政環境や施設の維持管理経費の増加が予測される状況下におきましては、効率的な体育施設の管理、運営をはじめ、公共施設として全庁的な取り組みの中で、既存施設のあり方を検討します。

また、市民総合体育館の指定管理者制度の導入にあたっては、事業分野と管理分野を一体的に行える地域に根差したスポーツ活動団体の活用など、より効果的な導入方法を検討します。

さらに、平成 18 年度から導入しました公共施設予約システムにつきましては、今後も、利用者の利便性の向上を図るために、必要に応じてシステムの改善を行ってまいります。

(2) 学校体育施設等の有効活用

これまでも市の体育施設を補完する施策として、市立学校の体育館や校庭を個人開放及び団体開放により市民に活用されています。

今後も市の体育施設を補完するスポーツ施設としての必要性は高いことから、既存の体育施設との配置バランスを考慮したうえで、体育館とプールの建替時には、重層式の地域開放型の体育施設の建設を目指すことにより、地域の生涯スポーツの拠点として有効活用を図ります。

また、市内の民間スポーツ施設については、多種目のスポーツや多くのスポーツ活動団体等の継続的な利用が見込まれる施設については、今後も積極的な活用を図ります。

3. 健康づくり事業の推進

市民の誰もが身近な地域でスポーツを親しみ、各世代のニーズにあったスポーツや健康づくりの機会を提供するとともに、市民が幅広くスポーツを行うためのきっかけづくりを進めます。また、スポーツは、生活習慣病などの予防の見地からも、個々にあった運動習慣を身につけることで健康づくりに有効であり、生きがいや交流も生まれます。

今後は、グリーンロードを活用した「小平グリーンロード歩こう会」をはじめとするウォーキングイベントなどの身近なスポーツの実施を積極的に **PR** するとともに、庁内をはじめ、市内の関係機関と連携した行政ニーズも取り込んだ健康づくりに役立つスポーツイベントの普及や情報提供を図ります。

資 料

＜社会体育関係事業年表＞

年	内 容
昭和34年	<ul style="list-style-type: none"> ・小平町体育協会創立 ・小平町体育協会創立記念町民体育祭、町民運動会開催（於：小平第一中学校） ・第14回国民体育大会（東京都開催）・国体大会旗リレー参加協力
昭和35年	<ul style="list-style-type: none"> ・町内ロードレース
昭和37年	<ul style="list-style-type: none"> ・市制施行祝賀市民体育祭、市民運動会開催（於：一橋大学）
昭和38年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回市民体育祭、市民運動会開催（於：小平第一中学校） ・小平市体育協会が東京都体育協会へ加盟
昭和39年	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック東京大会「聖火リレー」に参加協力
昭和40年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回市民スポーツテスト実施（於：小平第二中学校）
昭和41年	<ul style="list-style-type: none"> ・小平市スポーツ少年団結成
昭和43年	<ul style="list-style-type: none"> ・萩山公園グラウンド開設
昭和44年	<ul style="list-style-type: none"> ・上水テニスコート開設
昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテスト判定員講習会開催（於：小平第三中学校）
昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> ・萩山公園プール開設 ・萩山公園管理棟に卓球室開室
昭和47年	<ul style="list-style-type: none"> ・学校体育館スポーツ開放開始
昭和48年	<ul style="list-style-type: none"> ・第16回都下一周駅伝大会主管
昭和49年	<ul style="list-style-type: none"> ・民間体育施設一般開放開始（沖電気、丸井グラウンド）
昭和50年	<ul style="list-style-type: none"> ・花小金井武道館開館、小川グラウンド開設（～平成18年） ・壮年体力テスト実施（於：小平第四小学校、小平第十四小学校）
昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> ・「第1回少年少女マラソン大会」開催（小学3年生～小学6年生） ・第10回東京都市町村総合体育大会主管（総合優勝を飾る） ・「第1回小平～多摩湖歩け歩け会」開催
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の全国巡回ラジオ体操大会（於：小平第十四小学校） ・小平市体育協会が社会体育優良団体として、東京都教育委員会表彰を受賞
昭和53年	<ul style="list-style-type: none"> ・「小平～青梅24キロ歩け歩け大会」開催（～平成4年）

年	内 容
昭和53年	・小平市体育協会創立20周年記念行事開催
昭和55年	・大沼グラウンド、天神グラウンド開設 ・市民体カテスト実施（於：小平第五小学校、小平第十三小学校、小平第十五小学校、小平学園東小学校）
昭和56年	・「第1回元旦歩け歩けのつどい」開催 ・小川東グラウンド開設（～平成5年）
昭和57年	・体育館建設企画委員会設置 ・中央公園グラウンド、テニスコート開設 ・中央公園体育施設開設記念日本サッカーリーグ公式戦開催（日立 対 マツダ） ・子どもキャンプ場開設 ・「第1回市内一周緑道歩こう会」開催
昭和58年	・「第1回ファミリースポーツ祭」開催（～平成元年） ・民間体育施設一般開放開始（日本団体生命、三共グラウンド）
昭和60年	・市民総合体育館完成 ・市民総合体育館オープン記念行事 バレーボール模範試合（日立 対 韓国ナショナルチーム） 東京女子体育大学新体操部による模範演技 ・東部公園プール（流れるプール）開設 ・東部公園テニスコート開設（～平成13年）
平成元年	・小平市体育協会30周年記念行事開催
平成2年	・第1回市民スポーツまつり開催
平成4年	・民間体育施設一般開放開始（三菱ビルテクノサービス㈱）
平成5年	・民間体育施設一般開放開始（職業能力開発総合大学校東京校）
平成9年	・小平市体育協会、文部大臣表彰を受賞
平成10年	・小平市体育協会40周年記念行事開催
平成11年	・第10回市民スポーツまつり開催（4,400人参加）
平成12年	・天神テニスコート開設
平成15年	・小川西グラウンド開設

年	内 容
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ・第38回東京都市町村総合体育大会第5ブロック（小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市）の開催、幹事市を担当 競技種目陸上競技、水泳競技を主管
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> ・「第1回トップアスリートと走るマラソン教室」開催
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> ・第27回こだいら市民駅伝大会開催（18年振りに復活） ・市内一周緑道歩こう会を「小平グリーンロード歩こう会」に改称 ・第68回国民体育大会会場第1次選定（バレーボール競技成年女子） ・第68回国民体育大会中央競技団体正規視察
平成20年	<ul style="list-style-type: none"> ・第68回国民体育大会の東京都での開催が内定 ・オリンピックムーブメント共同推進事業によるバレーボール教室、体操教室、サッカー教室を開催
平成21年	<ul style="list-style-type: none"> ・「元旦歩け歩けのつどい」事業を「新春歩け歩けのつどい」に改称 ・第43回東京都市町村総合体育大会第5ブロック（小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市）の開催、競技種目陸上競技、バレーボール競技、ゲートボール競技を主管 ・第20回市民スポーツまつり開催（2,044人参加）

小平市のスポーツ振興の基本方針（素案）

平成 22 年 2 月

編集・発行 小平市教育委員会教育部体育課

〒187-0025

東京都小平市津田町 1 丁目 1 番 1 号

電話番号 042-343-1611

電子メール taiiku@city.kodaira.lg.jp

この印刷物は再生紙を使用しています。